

授業科目名	必修・選択別	単位数	対象学年	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態
医学のための心理学	選択	1	1	後期	火・1	日本語		単独

【担当教員】 矢島 潤平 (非常勤)

【科目名の英文】 Psychology for Health and Medicine

【授業の概要・到達目標】

医学領域における対人援助職に求められる心理学的知識および態度を、講義と実践を通して学ぶことを目的とします。本授業では、自己理解を深めるとともに、患者や同僚に対して適切な支援や態度を選択できる力を養います。さらに、自身、他者（患者を含む）、多職種チームを「見立てる」「支援する」実践を通して、医療における心理学の意義について考察します。

具体的な到達目標	医学科ディプロマポリシーとの対応					
	1	2	3	4	5	6
1. 心理学の基礎を学ぶことによって、対人コミュニケーション能力の基礎を説明する	○					
2. 医師として必要な人間理解のための心理行動科学的視点と方法論を説明する		○				
3. 授業内容とおおして、自身及び他者（他職種を含む）を理解する態度を説明する			○			
4.						
各DPへの関連度（計10）	3	4	3			

【授業の内容】

回数	授業項目	授業内容	担当講座・教員	方法
1	オリエンテーション	医療現場における対人関係に心理学を活用する意義について理解する		
2	アイデンティティの形成	年齢に応じた発達過程や心理的特徴について理解する		
3	パーソナリティ検査の体験1	性格検査を体験し、自己理解を深める		
4	パーソナリティ検査の体験2	描画法を体験し、自己理解を深める		
5	心理的支援のアプローチ1	傾聴、受容、共感について、ロールプレイを通して理解する		
6	心理的支援のアプローチ2	統合失調症への支援方法について理解する		
7	心理的支援のアプローチ3	うつ病への支援方法について理解する		
8	心理的支援のアプローチ4	PTSDへの支援方法について理解する		
9	他職種連携について1	医療現場で働く様々な職種について理解する		
10	他職種連携について2	災害現場における支援と連携について理解する		
11	心理療法とカウンセリング1	精神分析的アプローチについて理解する		
12	心理療法とカウンセリング2	クライエント中心療法について理解する		
13	心理療法とカウンセリング3	認知行動療法について理解する		
14	心理アセスメント	患者をアセスメントする際の聴き方について理解する		
15	まとめ	これまでの学びを振り返り、架空事例を検討する		

【アクティブラーニングの内容】

ミニレポート、小グループによるディスカッションの時間を設定して、自身の考えを発表してもらおう。適宜、心理テストなどを取り入れて体験的学習をおこなってもらおう。

【その他の工夫】

Moodle を活用します

【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	参考文献や配布資料をもとに予習する。(11h)。
事後学修	時間外にグループワークを実施し、課題の準備を行う。(22h)。
想定時間合計	33h

【教科書】

武田明典「心理教育としての臨床心理学」北樹出版、2023年、ISBN:978-4-7793-0702-7

<b>【参考書】</b>	
適宜授業中に提示します	
<b>【成績評価方法及び評価の割合】</b>	
定期試験 60%， ミニレポート 20%， 授業への取り組み 20%で評価します	
<b>【注意事項】</b> ミニレポートは、 ムードルを通して提出してもらいます	
<b>【備考】</b>	
リンク	URL
教員の実務経験の有無	○
教員の实務経験	総務省消防庁緊急時メンタルサポートチーム， 大分県緊急時心のケアチーム， カウンセラー
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	
教員以外の指導に関わる実務経験者	
実務経験をいかした教育内容	クライアントの許可を得た実践事例を授業中に紹介しますので， グループワークなどでのディスカッションの参考にしてください
授業形態	対面